

(学校運営協議会・報告様式)

令和7年度 第3回白子中学校 学校運営協議会 実施報告書

1 日 時 令和7年9月4日(木) 16:00～17:00

2 場 所 白子中学校 図書館

3 あいさつ(学校運営協議会副委員長)

- ・酷暑の8月が終わり、2学期がスタートしたが、まだまだ暑い日々が続いている。子どもたちも大人も学校生活に慣れるのに大変だと思うが、健康に留意して過ごしていきたい。

4 報告事項

(1) 2学期当初の学校の様子について

- ・大きな事故もなくスムーズなスタートがきることができている。熱中症にも注意しながら学校活動を行っている。

5 協議内容

(1) 全国学力・学習状況調査の結果について学校長より報告

- ・国語、数学ともに全国平均を下回る結果となった。特に数学は昨年と比べて著しかった。
- ・生徒質問紙の調査から、ICT機器の活用についてはタブレット等の使用頻度が全国平均を大幅に超えることができた。
- ・質問紙から話し合う活動から考えを深めることにはやや課題が見られるが、自分の考えをまとめる活動の経験は取り入れられていることがわかった。
- ・自分によいところがあると思うという項目において全国平均より少し低い結果となったが、今後も取組を通して伸ばしていきたい。

<質疑・意見>

- ・鈴鹿市の平均は出ているのか。
→10月頃に出る予定である。
- ・三重県は全国と比べても比較的低い傾向にある。他府県との違いがあるのか。
県民性もあるのではないか。
- ・数学は特に苦手な分野があったのか、それとも全体的に低かったのか。
→長文の問題について全体的に低い傾向があった。
- ・文章をきちんと理解して読み解く力が必要である。国語力が大切である。
→学校では週一回読売新聞本社教育ネットワークのよむYOMUワークシートを活用し、1年生ではビブリオバトルを行い、国語力の向上に取り組んでいる。

- ・将来の夢や目標を持っている生徒が6割となっているが、自分たちが学生の時代を考えてもこの時期に6割も夢や目標を持っているのは十分だと思う。
- ・子どもたちに本を読んでもらうためには、保護者の協力や本を読む環境の整備が大切である。

(2) 学校運営協議会の熟議内容：「子どもの自己肯定感を育むために」について

- ・旗当番中に子どもたちが挨拶をしてくれた際、それをほめると喜んで、次回も進んで挨拶をしてくれる。ほめることは大切である。
- ・毎日忙しい中ではあるが、質問項目にもある生活に関することを意識して取り組むことが子どもたちの自己肯定感を育むのに大切なことではないか。
- ・保護者や教員、地域の大人が子どもたちの日頃の様子をしっかりと見て、いいところを見つけ、ほめて育てていくことが必要である。そうすれば、子どもたちはどんどん成長していく。
- ・できて当たり前ではなく、慣れる、理解できるには子どもたちも個人差があるのでそれに取り組んでいる子どもの過程をしっかりと見つめ、ほめていくことが大切である。
- ・勉強ができることも大事ではあるが、学校にニコニコ元気に子どもたちが登校できることが一番大事ではないか。

(3) その他

①今後の予定について

次回 11月4日(火) 15:30～17:00

白子中学校区合同学校運営協議会を開催 白子中学校被服室

- ・講演「こども食堂の取組」(仮題)

講師：夢ある稲生まちづくり協議会 会長 鈴木 誠治 様

夢協子ども食堂稲乃屋 会長 岩本 維久子 様

- ・質疑応答と意見交流等